

第2回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣養老高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年10月26日(火) 10:00~12:00
- 3 開催場所 大垣養老高等学校 会議室
- 4 会議の構成 学校運営協議会委員

会 長	林 新太郎	同窓会長
副会長	久保寺 美佳	地域の住民
会 員	長屋 道幸	保護者(本校PTA会長)
	清水由美子	養老町議会議員
	野崎 道夫	特別養護老人ホーム「白鶴荘」施設長
	伊藤由美子	女性農業経営アドバイザー
	宇納 光好	藤井ハウス産業(株)総務部長
学 校 側	高木 徳彦	校長
	西脇 淳子	事務部長
	伊藤 力	教頭
	奈波 宏和	教頭
	土本 繁	教務主任
	戸田 京介	生徒指導部長
	田中 賢	進路指導部長
	高橋 百合	総合学科部長
	箕浦 誠	農場長
	桂川 法生	寮務部長

5 会議の概要

(1) 自己紹介

(2) 学校長挨拶

- ・教育目標と学校運営方針について
- ・コロナ禍での学校対応や生徒の様子について

(3) 本校の現状と取組の説明

1) 教務部より

・行事の変更、オンライン授業、高校授業体験会 等

2) 生徒指導部より

・居場所づくり・絆づくり、積極的生徒指導の展開について、コロナ禍における指導 等

3) 進路指導部より

・今年度の進路の特徴、コロナ禍での進路関連行事、卒業後の就職先での活躍 等

4) 総合学科部より

・校内弁論大会、地域産業の担い手育成総合戦略事業の取組 等

5) 農業部より

・農産物販売、新聞記事より

(田んぼアート、花生けバトル、清酒プロジェクト、美濃芝犬 等)

(4) 授業見学、施設見学

・いぶきホール、総合学習室(オンライン配信)、食品製造実習室 等

(5) 食品科学科試作品の披露

・クッキー製作や100周年清酒製作の過程、苦労、課題について、生徒からの紹介

(6) スクールポリシーについて協議

意見1：生徒は自分のやりたいことを選んで入学してくる。本校では細分化された指導がされていると感じた。小グループでの授業形態が多く、ここを卒業したら何をしたいか、天職を見つける方向性がはっきりしている。

意見2：授業の中に楽しさがある。自分達の就職に繋げていく目的を持った取組である。

意見3：地元企業との連携を進め、企業、学校が共に学び合える意義ある地元密着を今後進めてほしい。

意見4：本校の更なる発展には、生徒のポテンシャルをいかに引き上げるかが重要である。学校と地域との連携、地元企業との連携から、生徒一人一人がいろいろな経験をし、そこから何かを感じ、気づき、創意工夫をする力を養うことが肝要である。

意見5：若い人を指導している立場の方に聞くと、「最近の若い人は掃除の仕方を知らない。」と聞く。校内の様子を見ると片付けができていない。どのように指導しているのか。

⇒ コロナ禍により、雑巾の使用ができなくなり、ペーパータオルは使い捨てなど、ほうきやちりとりを含め、使い方等の指導ができていない。

6 会議のまとめ

学校運営協議会の第1回は書面開催であったが、第2回は新型コロナウイルス感染予防対策の実情や授業参観での生徒の様子を通して、有益な意見を踏まえてスクール・ポリシーの策定に向けた議論を行った。資格取得状況を含めた学校の基礎情報と魅力の発信、地元企業との連携強化についてしっかりと取り組み、常に魅力ある学校づくりを推進していきたい。